

2024年3月期 第2四半期 決算説明会

マクニカホールディングス株式会社

2023年10月30日

AGENDA

01. 実績報告

- ① 2023年度 上期 業績ハイライト
- ② 2023年度 上期 実績（連結）

02. 中期経営計画（2022年～2024年度）

- ① 全社
- ② 半導体事業
- ③ ネットワーク事業
- ④ CPSソリューション事業
- ⑤ 経営基盤強化

※ 本プレゼンテーションでは、「集積回路及び電子デバイスその他事業」を半導体事業としています。
従来の「サービス・ソリューションモデル」を「CPSソリューション事業」に名称変更しています。
CPSソリューション事業の数字は半導体事業に含まれています。

01. 実績報告

① 2023年度 上期 業績ハイライト

2023年度 上期 業績ハイライト

単位：億円	2022年度 上期実績	2023年度 上期実績	増減	2023年度 通期見通し	進捗率
売上高	4,926	5,470	+544	11,000	50%
半導体事業	4,463	4,926	+463	9,848	50%
ネットワーク事業	463	544	+81	1,152	47%
営業利益	268	380	+112	660	58%
半導体事業	238	346	+108		
ネットワーク事業	30	34	+4		
平均為替レート（¥/USD）	131.56円	138.69円		140円（第3,4半期）	
親会社株主に帰属する純利益	168	259	+91	422	61%
営業キャッシュフロー	455	227	▲228		

- 上期は、半導体、ネットワーク事業とも好調維持。

半導体は、注力市場である産業機器、車載向けがそれぞれ+495億/+25%、+205億/+27%（売上高/前年同期比）と大きく伸び、メモリ中心のインフラ、コンピュータ向けのマイナス成長をカバー。

- 下期も半導体事業はメモリ分野の回復は期待できないものの全体としては堅調、ネットワーク事業はセキュリティを中心に好調を維持。

- 2023年度通期は、売上高、利益の予想は据え置いた一方、配当の予想を上方修正。

配当の状況（一株当たり）

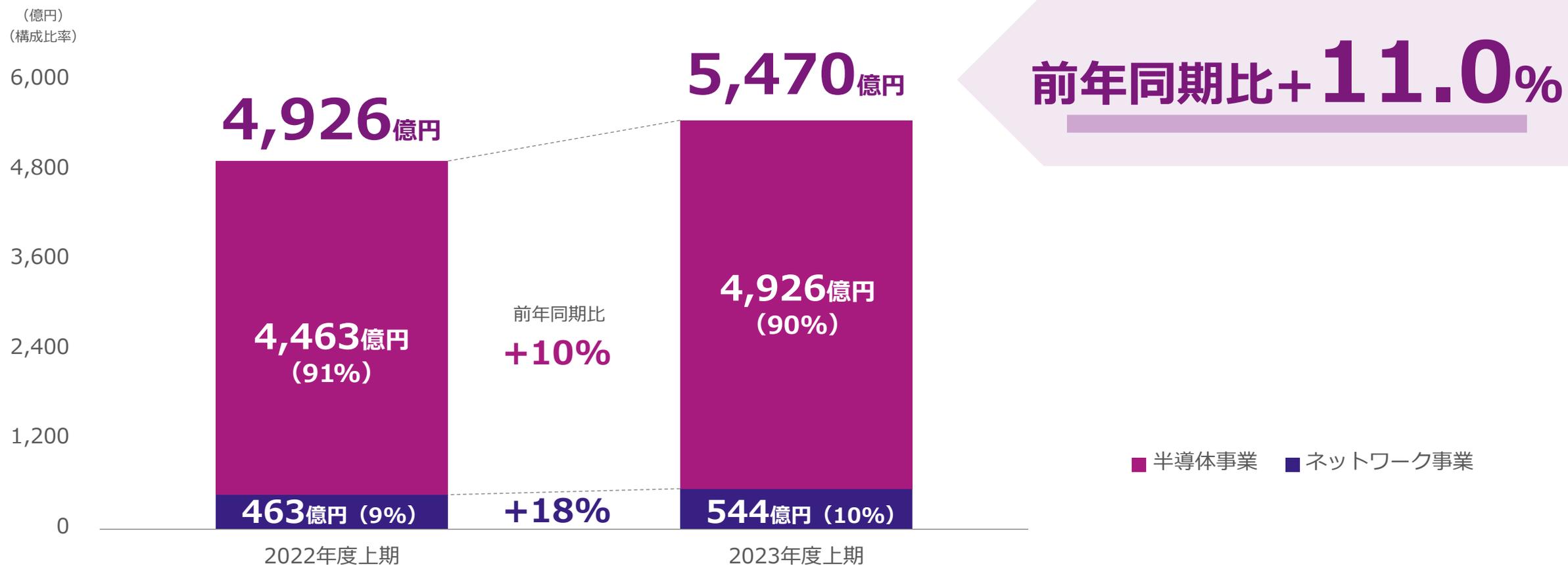
	中間	年間
2022年度	65円	140円
2023年度(予想)	80円	160円
配当性向(予想)		23%

01. 実績報告

② 2023年度 上期 実績 (連結)

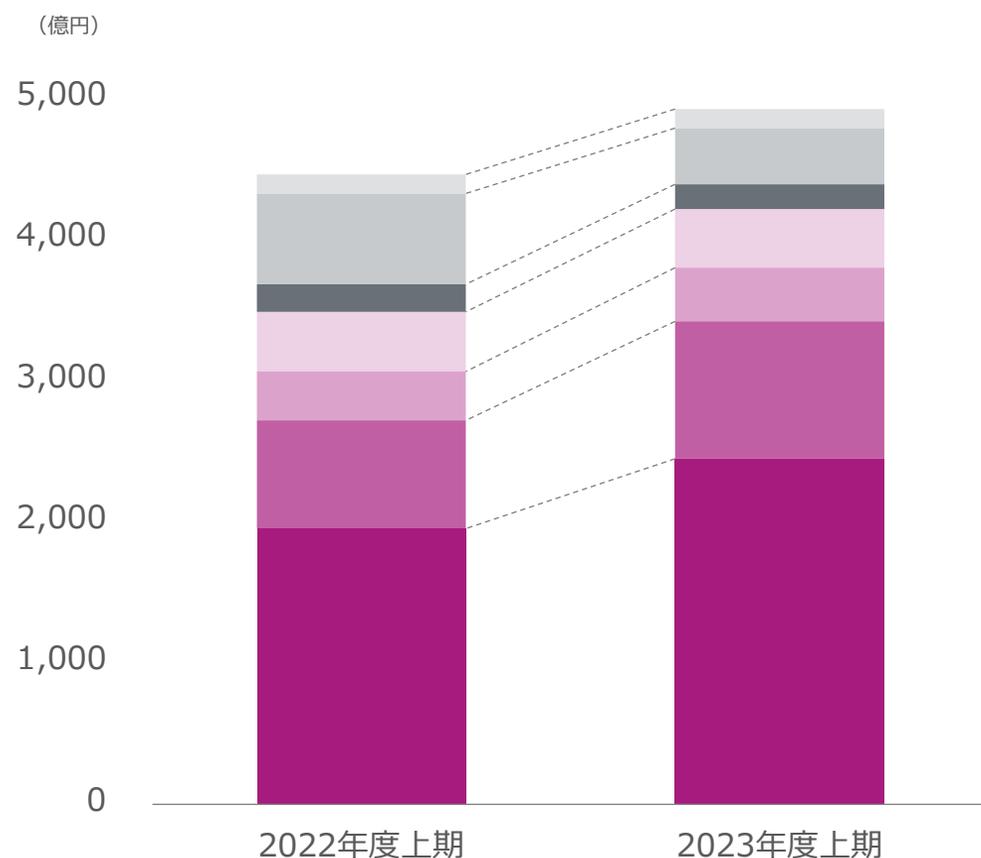
セグメント別：売上高

5,470億円 前年同期比+11.0%



半導体事業（用途別）：売上高

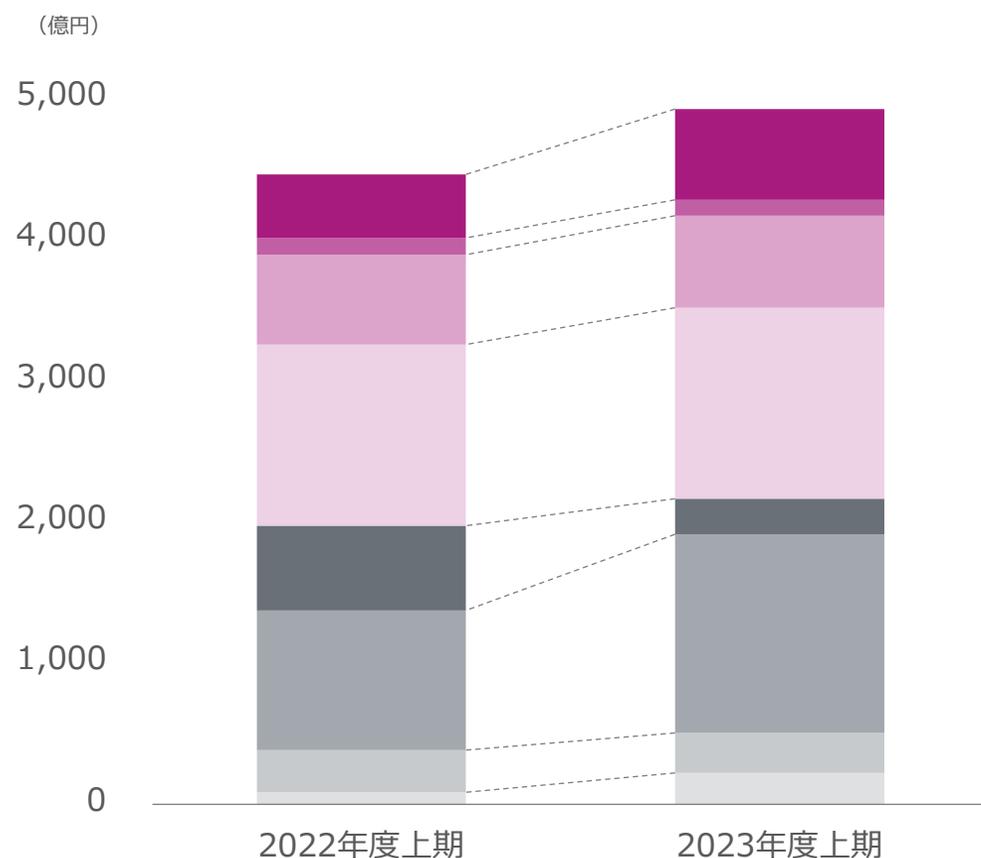
4,926億円 前年同期比+10.4%



	2022年度上期 (単位：億円) (構成比率)	2023年度上期 (構成比率)	前年同期比
通信端末	135 (3%)	134 (3%)	▲1%
通信インフラ	643 (14%)	398 (8%)	▲38%
OA・周辺機器	195 (4%)	176 (3%)	▲9%
コンピュータ	423 (10%)	416 (8%)	▲2%
民生機器	346 (8%)	380 (8%)	+10%
車載	767 (17%)	973 (20%)	+27%
産業機器	1,954 (44%)	2,449 (50%)	+25%
合計	4,463	4,926	+10.4%

半導体事業（品目別）：売上高

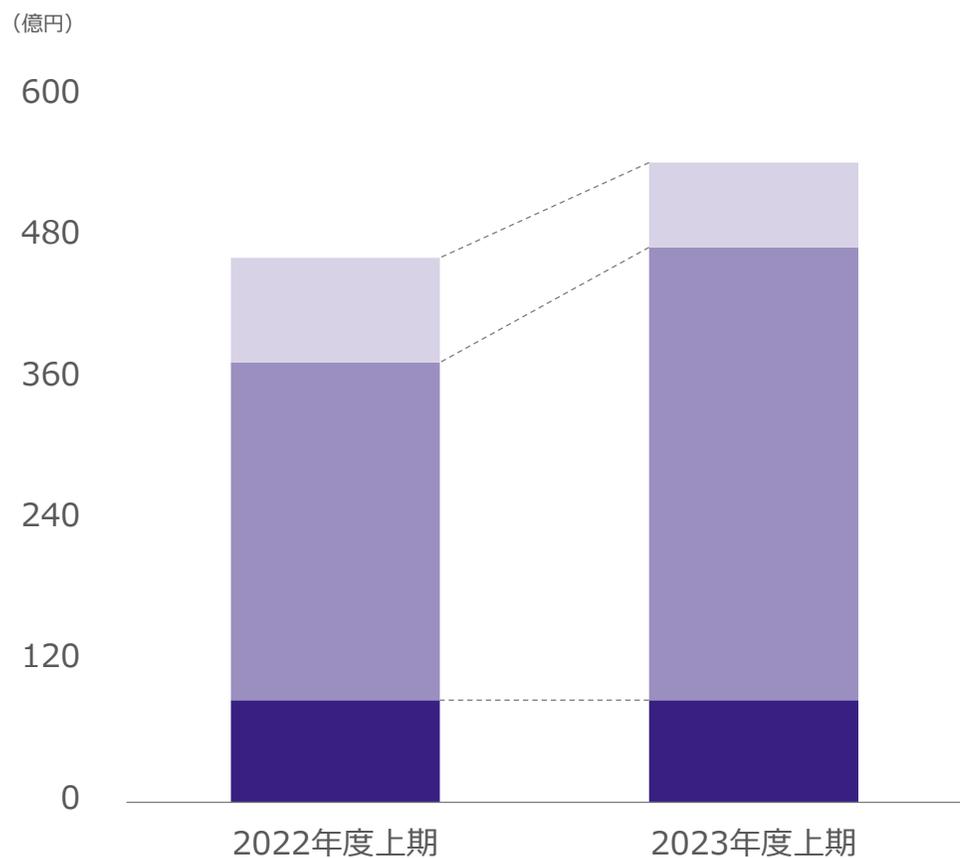
4,926億円 前年同期比+10.4%



	2022年度上期 (単位：億円) (構成比率)	2023年度上期 (構成比率)	前年同期比
PLD	450 (10%)	642 (13%)	+43%
ASIC	119 (3%)	112 (2%)	▲6%
ASSP	636 (14%)	652 (13%)	+2%
アナログ	1,284 (29%)	1,354 (27%)	+5%
メモリー	600 (13%)	252 (5%)	▲58%
その他標準IC	989 (22%)	1,408 (29%)	+42%
電子デバイス	299 (7%)	282 (6%)	▲6%
その他	86 (2%)	224 (5%)	+162%
合計	4,463	4,926	+10.4%

ネットワーク事業（品目別）：売上高

544億円 前年同期比+17.7%



(単位：億円)	2022年度上期 (構成比率)	2023年度上期 (構成比率)	前年同期比
ハードウェア	89 (19%)	72 (13%)	▲18%
ソフトウェア	287 (62%)	385 (71%)	+34%
サービス	87 (19%)	87 (16%)	+1%
合計	463	544	+17.7%

02. 中期経営計画 (2022~2024年度)

① 全社

2030年度（2031年3月期）の長期経営目標の修正

	2024年度 経営数値目標	2030年度 長期経営目標	
	2023年5月8日公表	2022年5月9日公表	2023年9月25日公表
連結売上高	1.2兆円以上	1.3兆円以上	2.0兆円以上
連結営業利益	670億円以上	1,000億円以上	1,500億円以上
連結営業利益率	5.6%以上	7.5%以上	7.5%以上
連結当期純利益	500億円以上		
連結ROE ※1	15%以上	15.0%以上	15.0%以上
運転資本回転率 ※2	3.8以上		

※1 連結 ROE = 連結親会社に帰属する当期純利益 ÷ 連結自己資本(純資産から非支配株主持分を除いたもの、期末時点)

※2 運転資本回転率 = 年間売上高 ÷ 運転資本(売上債権 + 棚卸資産 - 仕入債務、期末時点)

中期経営計画：全体

	事業戦略	経営基盤強化
半導体事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 成長ドメインにおけるシェア拡大 ● 付加価値ソリューションの拡大 ● 長期成長に向けた商材開拓 ● グローバル戦略 	
ネットワーク事業	<ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティビジネスの拡大 ● Big Dataビジネスの拡大 ● アプリケーションビジネスの拡大 ● グローバル戦略 	<ul style="list-style-type: none"> ● リスクマネジメントの強化 ● IT・DX戦略 ● 人的資本の最大化 ● 財務戦略
CPSソリューション事業 ※1	<ul style="list-style-type: none"> ● 6つのテーマにおける社会課題解決型のビジネス開発 ● CPSプラットフォームの拡大 ● 長期成長に向けたケイパビリティ強化 	

※1 「サービス・ソリューションモデル」は「CPSソリューション事業」に呼び方を変更しました。

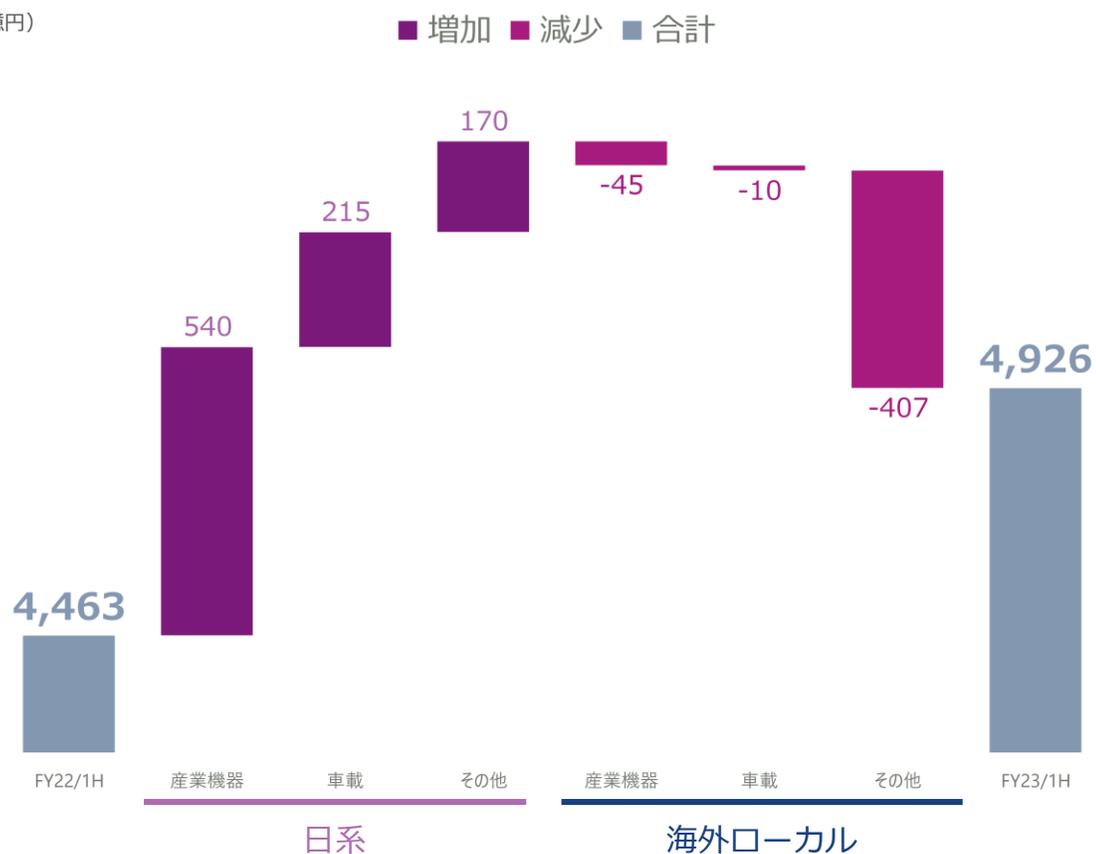
02. 中期経営計画 (2022~2024年度)

② 半導体事業

成長要因

前年同期比462億円増（+10.4%） 日系企業向け産業機器・車載市場が成長

（億円）



日系企業向け

- 産業機器：FA機器/半導体製造装置など幅広い分野で増加
- 車載：高性能化・EV化を背景に増加
- その他：生成AI向け製品の増加

海外ローカル企業向け

- 産業機器：中国市場減速の影響を受けFA機器など減少
- 車載：半導体納期改善による在庫調整
- その他：サーバー向けメモリー需要減少の影響を受けマイナス成長

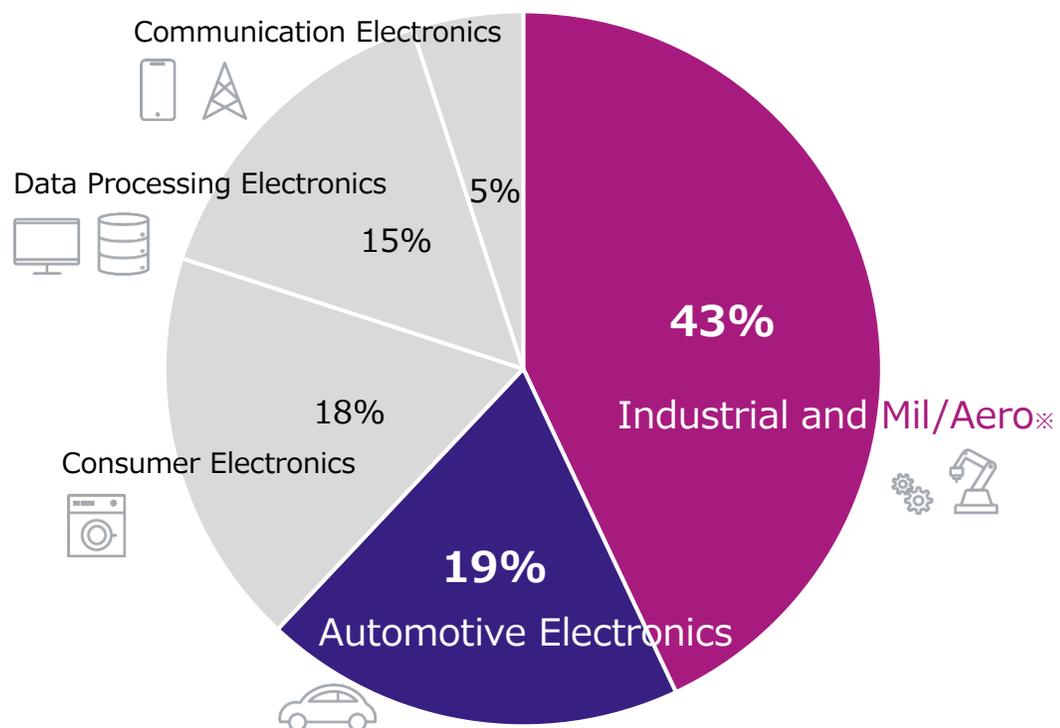
全体への影響

- 円安による為替影響
- 商圏拡大

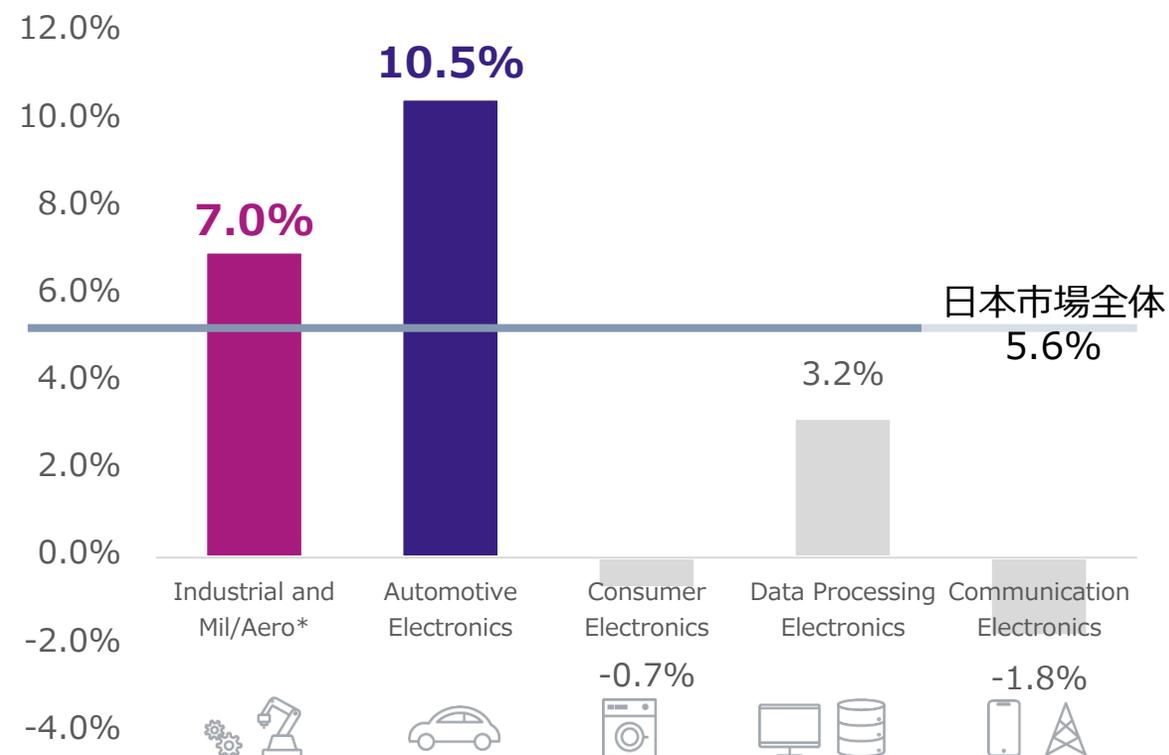
国内戦略市場（産業機器、車載市場）の状況

産業機器、車載市場が国内半導体市場をけん引

国内半導体市場 CY22の構成比



国内半導体市場 CY22-27のCAGR



Charts/graphics created by Macnica based on Gartner® research. Calculations performed by Macnica .

Revenue Basis ※ Industrial and Military/Civil Aerospace Electronics

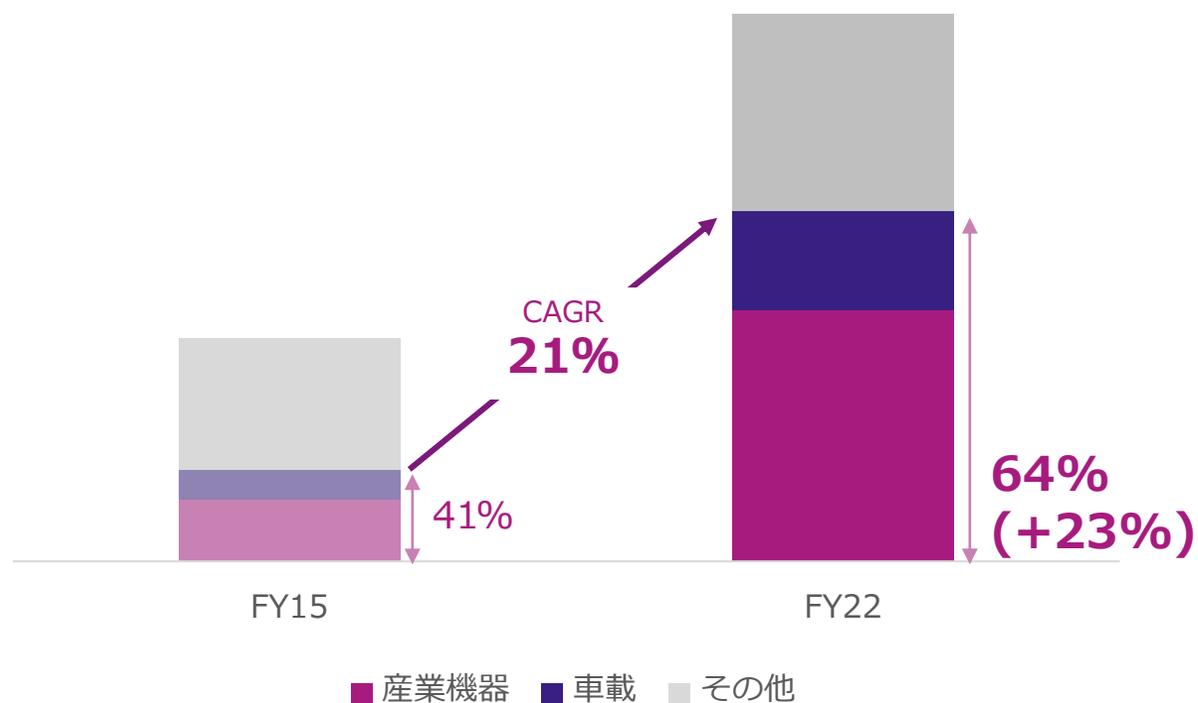
Source : Gartner® Semiconductors and Electronics Forecast Database, Worldwide, 3Q23 Update, Masatsune Yamaji et al, 4 October 2023

GARTNER is a trademark and service marks of Gartner, Inc. and/or its affiliates and are used herein with permission.

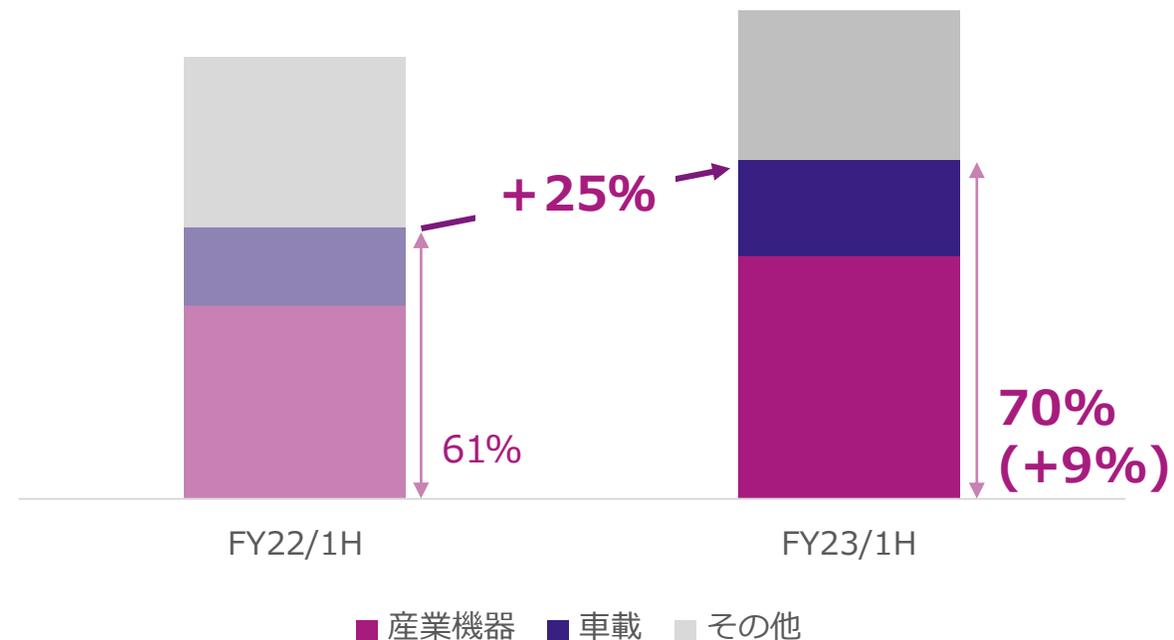
産業機器・車載市場への注力（当社売上）

注力市場である産機・車載市場で売上の70%を占める

長期比較



前年同期比



02. 中期経営計画 (2022~2024年度)

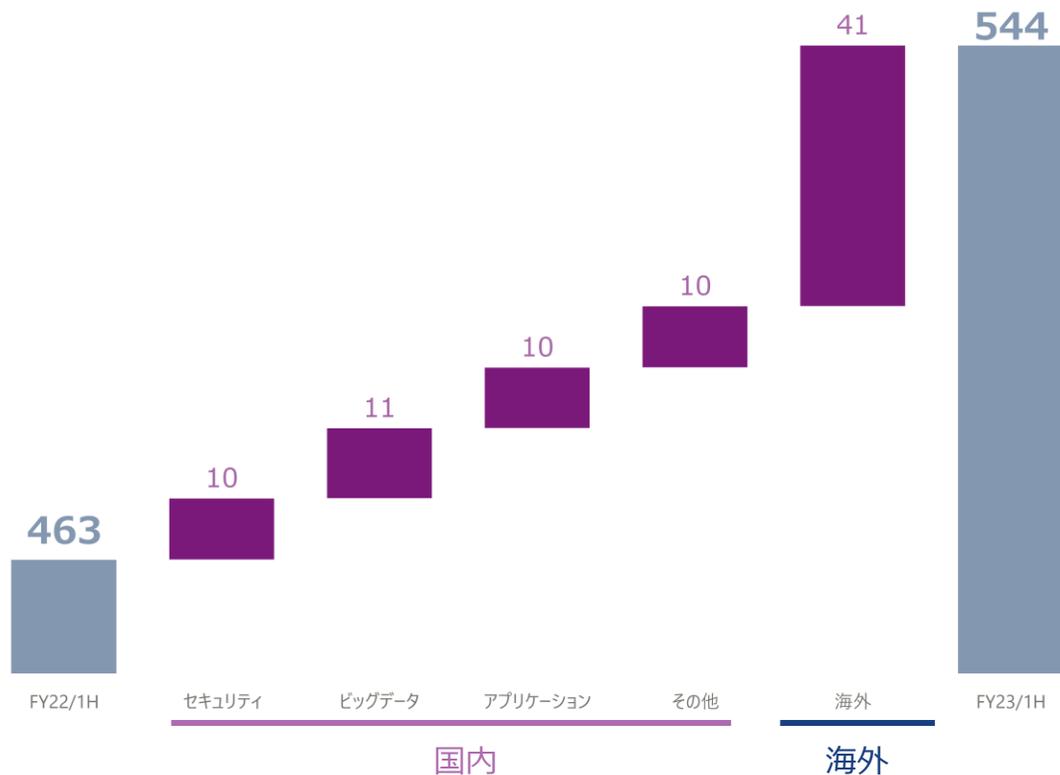
③ ネットワーク事業

成長要因

前年同期比81億円増（+18%）、全てのフォーカスエリアで成長

(億円)

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



国内 前年同期比40億円増（+13%）

- ・セキュリティ（+4%）
エンドポイント、クラウドセキュリティを中心に伸長
- ・ビッグデータ（+31%）
データ分析基盤、自社サービスを中心に伸長
- ・アプリケーション（+30%）
クラウドアプリケーションを中心に伸長

海外 前年同期比41億円増（+29%）

シンガポール、タイ、オーストラリア、インドネシア、インドを中心に伸長

セキュリティビジネスの成長戦略

既存市場、新市場ともに成長

① サイバーセキュリティツール市場 SAM内シェアの拡大

+8% エンドポイントセキュリティが順調に成長。

② サイバーセキュリティツール市場 SAMの拡大

+115% クラウド活用時のセキュリティ対策が順調に成長。

③ サイバーセキュリティサービスの強化

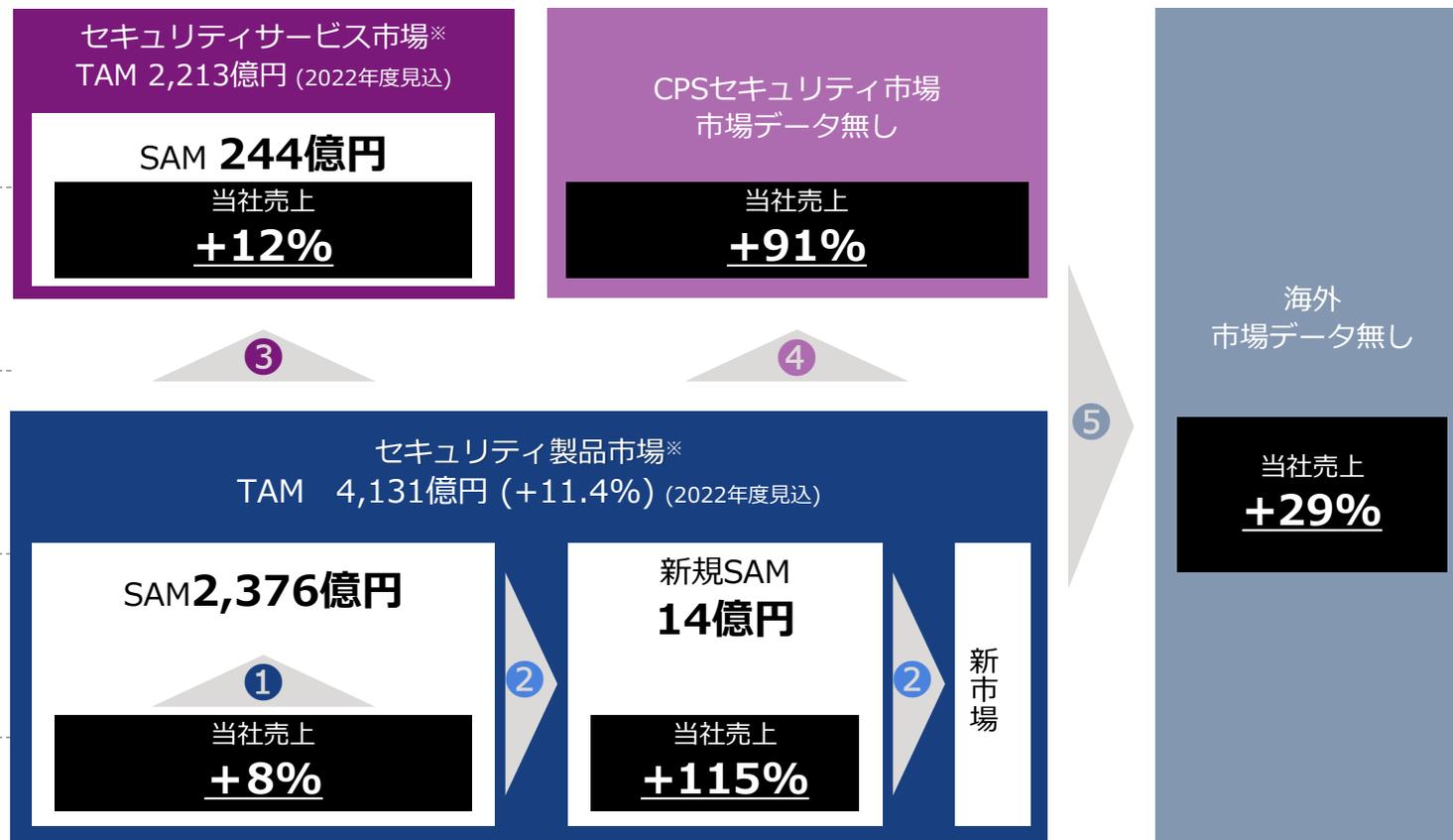
+12% ASM、統合監視サービスの受注が増加。

④ CPSセキュリティ事業化を推進

+91% IoT、OTのデバイスマネジメント製品が成長。

⑤ 海外展開の強化

+29% シンガポール、タイ、オーストラリア、インドネシア、インドを中心に伸長。



※ 「富士キメラ総研『2022ネットワークセキュリティビジネス調査総覧』〈セキュリティサービス市場〉、〈セキュリティ製品市場〉について」より。(SAMは当社算出)

Big Dataの領域拡大と自社サービス化

ディストリビューションの領域拡大と自社サービスの拡大

サービス・
ソリューション
モデル

データ活用アプリケーション

MOTEX box S&J CYBERARK

データ活用プラットフォーム

MUCV
Macnica U's Case Visualizer

昨年度下期比 **+246%**

AIサービス (CPSソリューション事業)

Re:Alize.
macnica.ai

CrowdANALYTIX

自社サービス拡大

高付加価値
ディストリビューション
モデル

分析プラットフォーム

splunk >
turn data into doing™

前年同期比 **+31%**

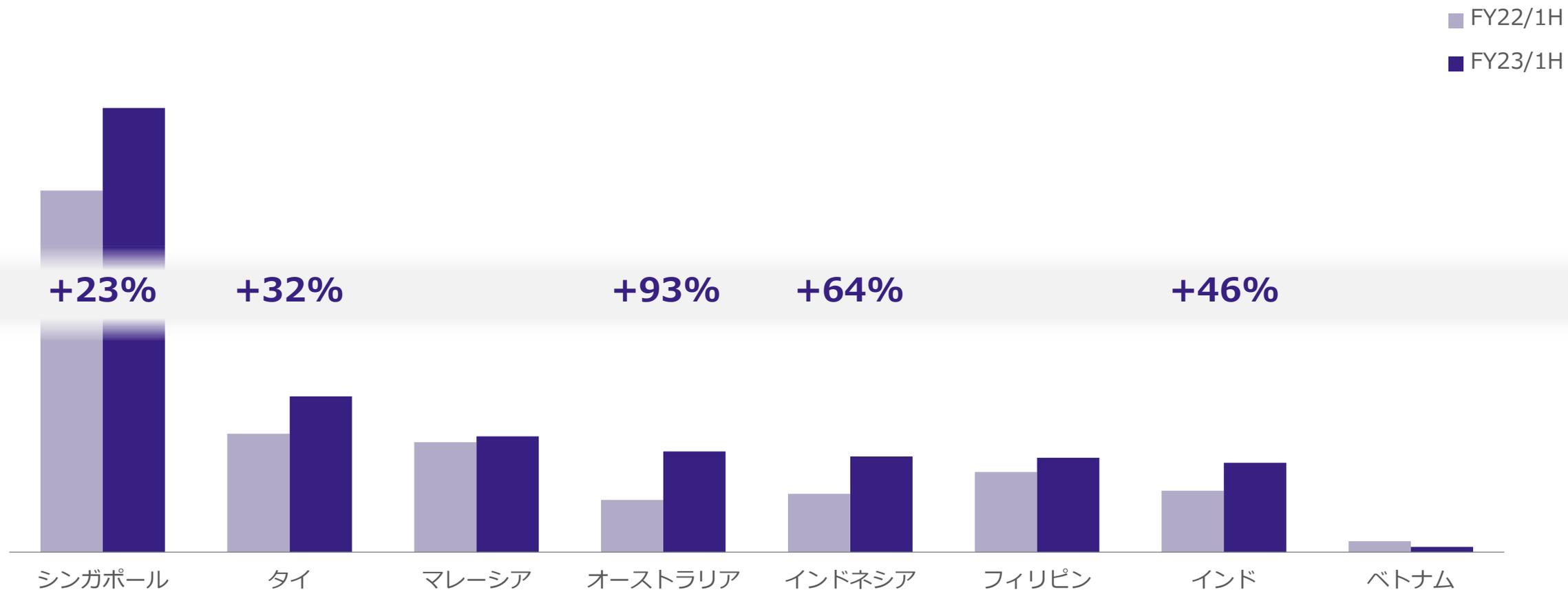
領域
拡大

データ プラットフォーム	AI	
	学習/推論	AI TRISM
databricks	TripleBI'nd™	brighter AI
	TieSet	

ポートフォリオ拡大 **2 → 4**

海外ネットワーク事業

前年同期比41億円増（+29%）、シンガポール、タイ、オーストラリア、インドネシア、インドが成長



※ %表記は前年同期比。

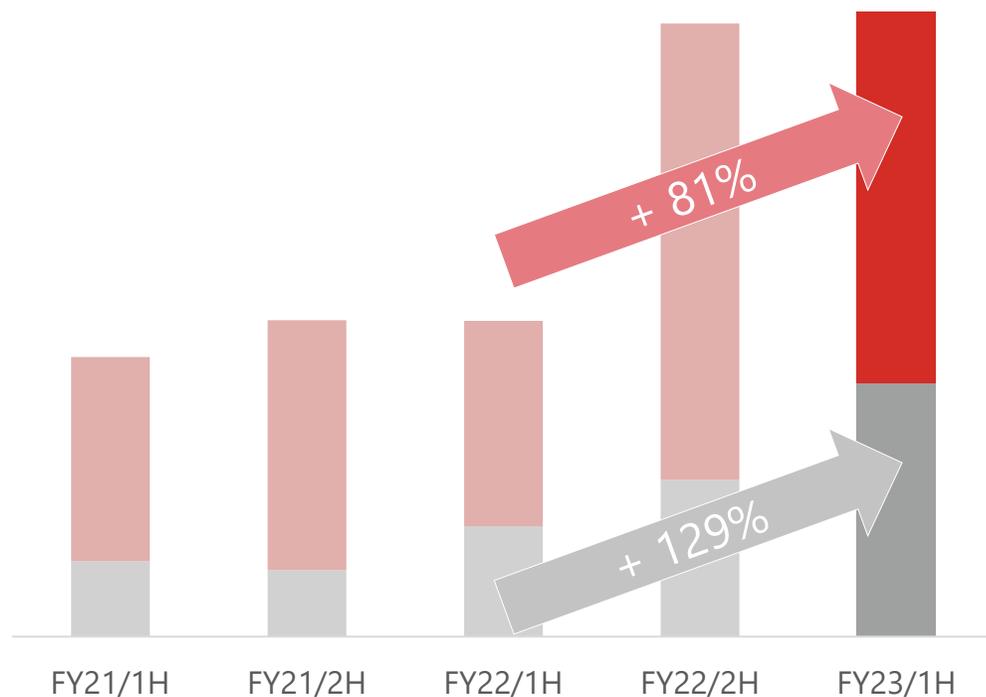
02. 中期経営計画 (2022~2024年度)

④ CPSソリューション事業

先行しているCPSソリューション事業

スマートシティ・モビリティとスマートマニュファクチャリングは成長フェーズへ

■ スマートマニュファクチャリング ■ スマートシティ/モビリティ



スマートシティ・モビリティ

前年同期比+81%の成長

自社サービス・ソリューション比率：43%

主にFMS（運行管理システム）

スマートマニュファクチャリング

前年同期比+129%の成長

自社サービス・ソリューション比率：23%

主にコンサルティング、システムインテグレーション

自動運転バスNAVYAの国内の広がり

RoAD to the L4をビジネスドライバに定常運行に向けて市場が加速

RoAD to the L4

2025年度までに50カ所程度で自動運転移動サービスを実現し、2027年度には本格普及を目指す。

定常運行

4件

実証運行

26件

● 定常運行

● 実証実験



最先端の技術

ペロブスカイト太陽電池の実用化へ向けた連携・実証を加速

ペロブスカイト 太陽電池

桐蔭横浜大学 医用工学部, 大学院工学研究科 宮坂 力 特任教授が発明
高い変換効率・軽量・薄い・曲げられる・印刷技術で量産可能



技術連携コンソーシアム

- 宮坂教授を中心にした技術連携コンソーシアムを発足
- 2024年春をめどに試作品開発
- 3年以内の事業化を目指す
- 参画企業
ペクセル・テクノロジーズ
マクニカ
麗光
MORESCO

環境省実証事業

- 港湾などの苛烈環境下におけるペロブスカイト太陽電池の活用に関する技術開発が採択 ※1
- 代表事業者
マクニカ
- 共同実施者
ペクセル・テクノロジーズ
麗光

東京都実証事業

- ペロブスカイト太陽電池を用いた空気質モニタリングソリューションの実証事業
- 空気質モニタリングソリューション“AiryQconnect”の省電力化
- 株式会社エネコートテクノロジーズのペロブスカイト太陽電池を採用

※1 令和5年度地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル 技術開発・実証事業の二次公募で採択。

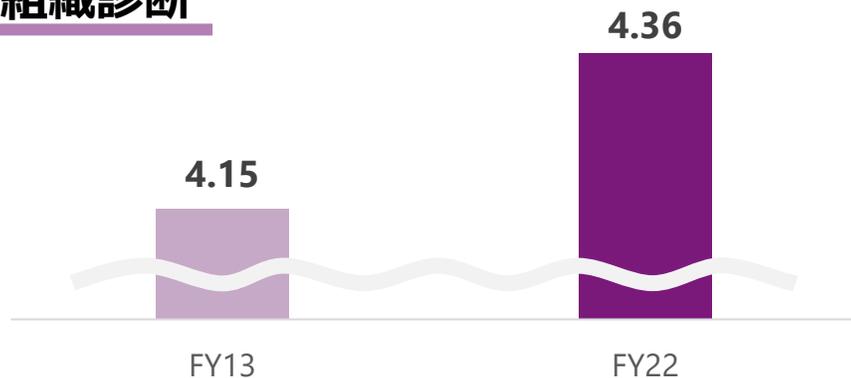
02. 中期経営計画 (2022~2024年度)

⑤ 経営基盤強化

人的資本の最大化

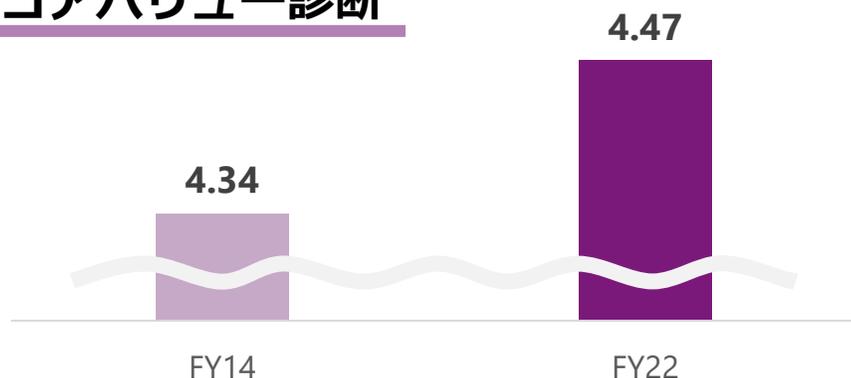
組織診断・コアバリュー診断と継続的な各部門での改善取り組み

組織診断



リーダーシップ
職場規範・コミュニケーション
部門使命・目標
人財育成
業務遂行知識・スキル
意欲
動機付け
仕事・業務の設計
業績・成果

コアバリュー診断



Trust
Excitement
Aggressiveness
Move
Stretch

受賞

Career Ownership Management Award 2023

5位

「新卒社員が評価する
『チームワークに優れた日系大手企業』ランキング」※1

19位

「管理職が推す企業ランキング」※2

※1 オープンワーク株式会社 働きがい研究所調査レポートvol.113より。
 ※2 「日経ビジネス」電子版2023年10月10日掲載。
 「特集 管理職 罰ゲーム 管理職が推す企業ランキング 1位は伊藤忠、2位は…」
<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00583/100300003/>
 算出方法の詳細は上記WEBサイトをご確認ください。

IR活動の強化

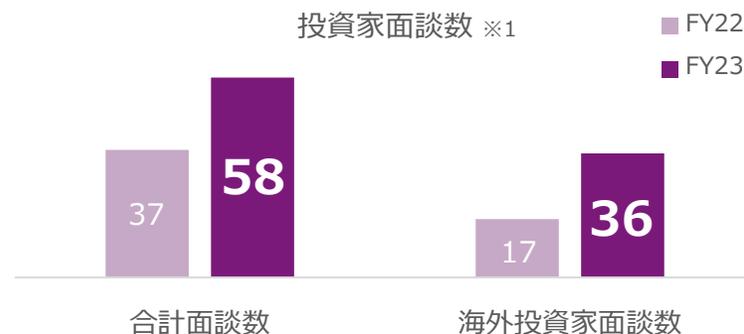
初の統合報告書発行・投資家面談の強化

指数への組み込み

JPXプライム150指数
 JPX日経インデックス400
 TOPIX 500
 FTSE All-World Index

機関投資家との面談

新規・海外投資家との面談を強化
 海外投資家ロードショー（予定）



ディスクロージャー

初の統合報告書 “LIMITLESS 2023”を発行
 統合報告書 ([リンク](#))
 日本語版 発行済
 英語版 11月中旬発行（予定）
 統合報告書説明会 ([リンク](#))
 スポンサーードリサーチ ([リンク](#))
 決算説明会・IRイベントの全文書き起こし ([リンク](#))
 日本語版 実施済
 英語版 本決算発表より実施（予定）
 IRウェブページの更改（予定）

※1 機関投資家バイサイドのみ、第1四半期決算発表後～沈黙期間までに実施した面談を集計

サステナビリティ経営の推進

サステナブルな成長基盤の更なる強化

ENVIRONMENT

- TCFDコンソーシアム参画
- 環境VISION、環境方針策定
- アクアdeパワーかながわ認定
- ISO14001

SOCIETY

- マルチステークホルダー方針策定
- DEIステートメント策定
- マクニカグループ人権ポリシー策定
- 健康経営宣言
- パートナーシップ構築宣言
- Career Ownership Management Award 2023 優秀賞

GOVERNANCE

- グループ全体リスク可視化
- リスク管理規程整備
- CSIRT体制構築
- ISO9001 (品質)
- ISO/IEC 27001

財務基盤強化

- 為替リスク最小化
- グローバルキャッシュフローマネジメント強化
- 運転資本回転率管理徹底

IT基盤強化

- プロセスマイニング導入 (予定)
- DX認定事業者
- CRMベストプラクティス賞

IT基盤強化

更なる効率化に向けたプロセスマイニングの導入

	テーマ	施策	ステータス
変革			
価値創造	顧客接点の強化	CRM活用促進	新規案件獲得率向上
		顧客向け情報一元化	50%展開済
		プロセスマイニング（営業）	FY23下期導入開始（予定）
成長			
収益性向上	在庫管理の高度化	SCM活用促進	需要予測精度±10%以内
		RPA等導入	累計1万時間以上の自動化
		プロセスマイニング（オペレーション）	FY23下期導入開始（予定）
基盤			
変革・成長基盤	IT施策企画・実行力の強化	組織体制強化	採用強化を継続
	ITリスク対応力の強化	セキュリティ対策・運用体制強化	FY23下期ゼロトラストセキュリティ導入開始（予定）

MET2023

Macnica Exponential Technology

豪華ゲスト登壇 全29セッション

最先端テクノロジーを俯瞰し共に未来を創る



ヘルスケア



製造DX



フード
アグリテック



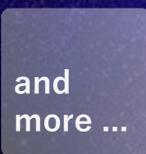
DX経営



セキュリティ



AI/Data



and
more ...

オンライン開催

期間中いつでも視聴可能

※一部公開日が異なるセッションがございます

12.1(金) - 12.8(金)



お申込みはこちら

macnica MET2023



入山 章栄氏



池上 高志氏



小野 和俊氏



伊藤 穰一氏



落合 陽一氏

©Impress Corporation